

取扱説明書 品番：AC2

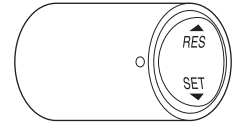
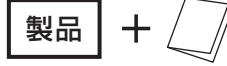
オートクルーズ付きスロコン

3-DRIVE AC2

衝突軽減システム車対応

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。



目次

ご使用のまえに	1	手順4 車速パルス設定	9
製品の特長	2～3	テスト走行	9
特長	2	基本動作	10
内容物	3	アクセル開度モニター	10
各部の名称	3	スロコン操作方法	11
警告・注意	3	オートクルーズ操作方法	12～14
手順1 配線接続方法	4～5	セット・解除	12
ブレーキスイッチ	4	速度を変える・復帰	13
車速信号・小型レバースイッチ・専用ハーネス	5	レベル調整	14
手順2 製品の固定	6～7	故障かな?と思ったら	15
手順3 初期設定（アクセル開度設定）	8	表示の種類	16



装着後は必ず「初期設定」をする

製品装着後はクルマの特性を設定する「初期設定」（⇒8ページ）を必ず行ってください。「初期設定」を行わないとクルマ側の **チェックランプ** が点灯する場合があります。また、モード表示を換えても **ノーマル状態** のままです。

作業が不安な方

本製品は配線接続など一部専門知識が必要ですので、作業が不安な方は販売店にご相談ください。

専用ハーネスは3-drive用を使用

不具合の原因となりますので、専用ハーネスは必ず3-drive用をご使用ください。

純正オートクルーズ装着車には取付できません

製品の取り外し時はノーマルモード

製品を取り外す時は、**nor**（ノーマル）モードにしてください。他のモードで接続すると、**チェックランプ** が点灯する場合があります。

製品改造の禁止

本製品の改造は、クルマ側の不具合や製品故障の原因となり、走行にも影響を及ぼしますので絶対にしないでください。

ご使用の
まえに

製品の特長

配線接続
の方法

製品の
固定

初期
設定

車速
パルス
設定

操作
方法

お困り
の
とき

特長

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定

車速
パルス
設定

操作
方法

お困り
のとき

ハンドルを握ったまま操作しやすいオートクルーズ付きスロコン。

簡単装着できる軽量の小型レバースイッチ。15mm薄型ワンボディの本体。アラーム音でもAC動作をチェック。

オートクルーズ機能

アクセル操作をしなくても設定速度でオートクルーズ走行が行えます。

設定速度

オートクルーズは40～140km/hの範囲で作動します。

軽量の小型レバースイッチ

わずか6gの小型レバースイッチは両面テープでも簡単に装着でき、ハンドルを握ったままでも操作できます。

操作アラーム音

本体を見にくい場所に設置してもオートクルーズ操作はアラーム音でも確認できます。

確認しやすい表示

オートクルーズの各操作を確認しやすく表示します。

誤操作防止機能

オートクルーズモードはエンジン始動後セットスイッチを長押し後に動作する安全設計。

衝突軽減車にも対応可能

オートクルーズ中に純正の衝突軽減システム車の自動ブレーキが作動すると自動解除します。

自動ブレーキ連動解除機能 (Abc)

オートクルーズ走行中に、自動ブレーキが作動すると、その減速Gの強さから自動ブレーキ作動を判断しオートクルーズを解除する安全機能です。



自動ブレーキが作動した場合は、アラーム音と同時に「Abc」表示となり、オートクルーズが解除されます。

燃料消費量比較



本数値は道路環境などで異なる場合があります。

車種=スズキ ワゴンR (MH23S)

道路勾配=上り平均1.5度/距離=1.5km

※波状走行とは、設定速度の上下を周期的にアクセル操作したものです。

スロットルコントローラー

アクセルの踏み込みに量に対するレスポンスが調整でき、お好みに応じた走行が可能。

スポーツモード

アクセルの全域のレスポンスを上げスポーツ走行に最適。

レスポンスモード

アクセルの0～中間域までのレスポンスを上げリニアなワイヤースロットルのような特性。

ECOモード

アクセルの全域のレスポンスを下げ加速調整しやすくエコ運転や急加速運転抑制に最適。

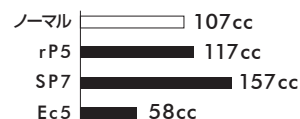
オートブレーキホールド車にも対応

純正のオートブレーキホールド車の自動停止中に誤解除されない制御システムで安心してご使用いただけます。

加速時間比較

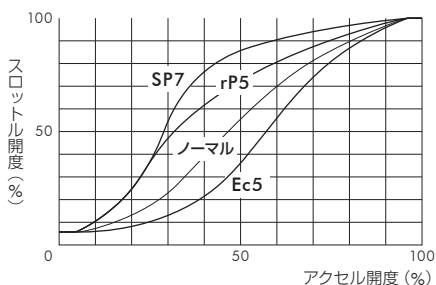


燃料消費量比較

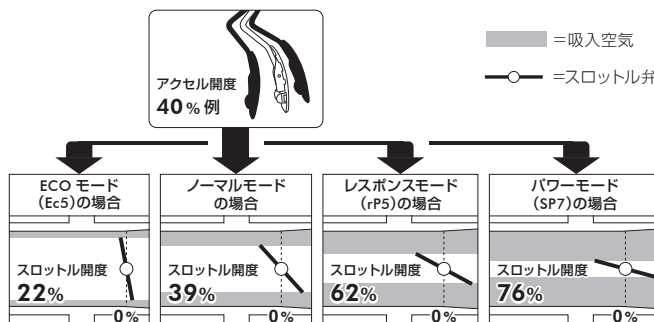


rP5=レスポンスモード最大 SP7=スポーツモード最大 Ec5=ECOモード最大
車種=ホンダ ステップワゴン (RG1) / 距離=0～400m / アクセル開度30%固定

スロットル開度変化

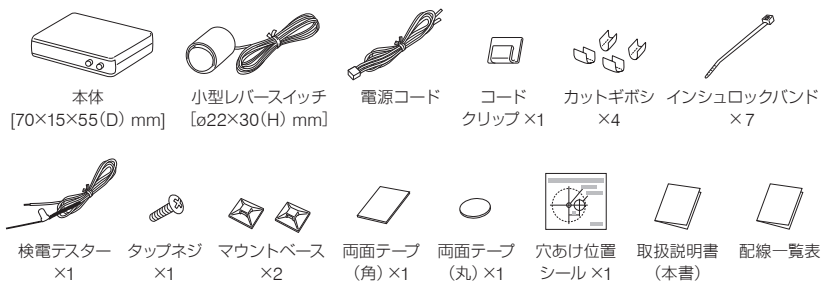


SP7=スポーツモード最大
rP5=レスポンスモード最大
Ec5=ECOモード最大

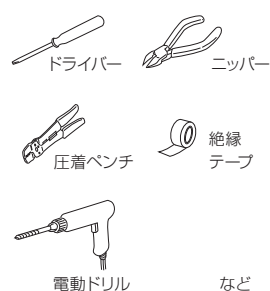


※スポーツモードは7段階、ECOモード、レスポンスモードは5段階の調整が可能です。
※バルブマチックエンジンなどを採用している一部車種では、スロットルバルブではなく吸気バルブで制御を行っている場合があります。

内容物をご確認ください



装着時に準備する道具と材料



ご使用の
まえに

製品の
特長

配線接続
方法

製品の
固定

初期設定
⚠

車速パルス
設定

操作方法

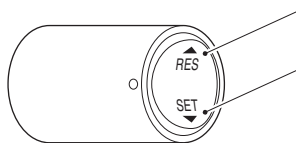
お困りの
ときは

各部の名称

● 本体



● 小型レバースイッチ



名称	オートクルーズモード		オートクルーズ 走行時	各設定
	OFF時	ON時		
LEVELスイッチ	各モードの変化率切り換え		レベル調整	初期設定
MODEスイッチ	モード切り換え		オートクルーズ 解除	車速パルス 設定
RES (UP) スイッチ	—	オートクルーズ 復帰 (リジューム)	設定速度を 上げる	—
SET (DOWN) スイッチ	オートクルーズ モードON (2秒長押し)	・オートクルーズ セット ・オートクルーズ モードOFF (3秒長押し)	・設定速度を 下げる ・オートクルーズ 解除 (1秒長押し)	—

表示部の 消灯について

本製品はクルマのECU電源に連動しています。そのため、車種によってはパワースイッチをOFFにしてから表示が消えるまで最長15分かかりますが、正常な動作です。

⚠ 警告

右記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 初期設定はギヤをPまたはNにし、エンジン停止状態で行ってください。エンジン動作中は危険ですので初期設定を行わないでください。
- 換気の悪い場所で作業しないでください。排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- コードの被ふくを傷つけないでください。ショート、接触不良等による火災の危険があります。
- 走行中のスイッチ操作や表示の注視は大変危険ですのでおやめください。
- 配線処理や製品固定は運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

⚠ 注意

右記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

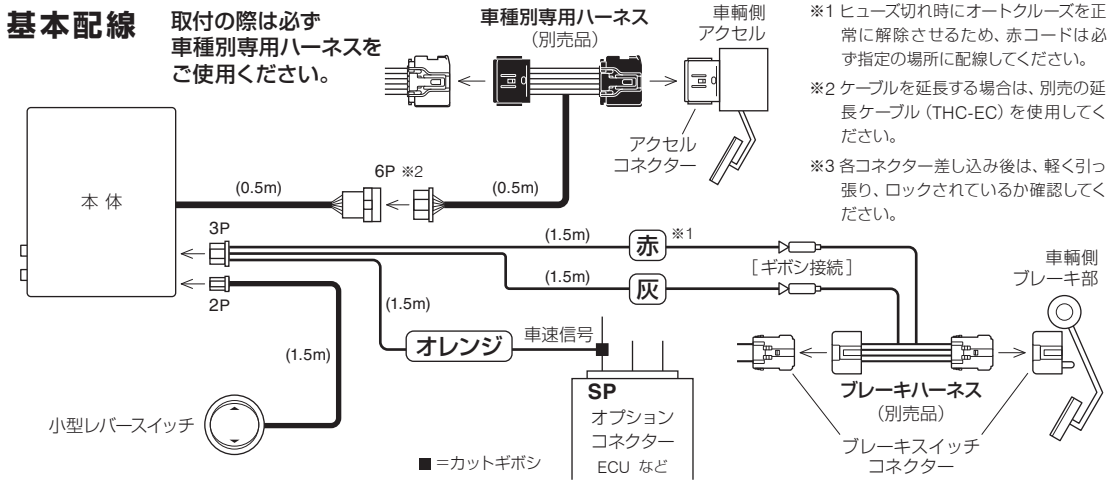
- 間違った設定や使用方法による車輛、製品、事故等の問題には弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。
- 装着できる車種かどうかは、対応車表でお確かめください。
- 本製品の装着には専門知識が必要です。不安な方は販売店などにご相談ください。
- 間違った装着・設定をすると、チェックランプが点灯する場合があります。
- エレクトロタップは使用しないでください。
- 配線は付属のカットギボシまたは半田付けで行い、配線部は絶縁テープで確実に絶縁し、芯線等が突き出ていないかをお確かめください。
- お手入れは乾いたやわらかい布 (めがね拭き) で拭いてください。
- アルコール・ベンジンなどは使わないでください。プラスチックが割れたり塗装面を傷めたりします。
- 加工・分解および改造は行わないでください。

手順 1

配線接続方法

基本配線

取付の際は必ず車種別専用ハーネスをご使用ください。



- ※1 ヒューズ切れ時にオートクルーズを正常に解除させるため、赤コードは必ず指定の場所に配線してください。
- ※2 ケーブルを延長する場合は、別売の延長ケーブル (THC-EC) を使用してください。
- ※3 各コネクター差し込み後は、軽く引っ張り、ロックされているか確認してください。

⚠ ● 車輻側コードへの接続時は、通電不良の原因となるため、「エレクトロタップ」を使用せず、付属のカットギボシを使用するか半田付けをし、テープで絶縁処理を行ってください。

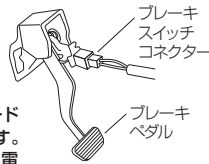
- ブレーキスイッチコネクターは車種、グレード、年式などで異なる場合がありますので、「配線一覧表」で形状を確認してください。
- 配線作業は必ずバッテリーの⊖端子を外して行ってください。

ブレーキスイッチ (ブレーキ電源とブレーキスイッチ信号)

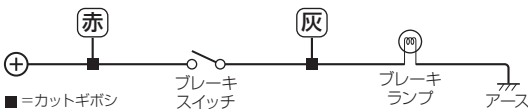
赤 ブレーキ電源へ (常時 12V)

灰 ブレーキスイッチ信号へ

- ブレーキスイッチコネクターからのコードは2本または4本以上の場合があります。「配線一覧表」で接続場所を確認し、検電後に接続してください。
- 接続完了後は必ずブレーキランプの点灯確認を行ってください。

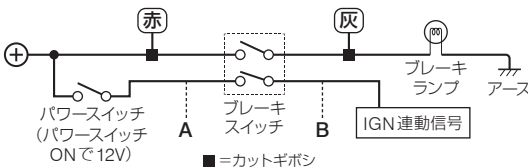
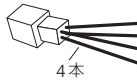


コネクターのコードが2本の場合



コネクターのコードが4本以上の場合

コードが4本以上の場合、下記A・Bの場所には接続しません。(各コード接続場所の検電方法は下記のとおりです。)



検電方法 (⇒ 5 ページ 検電テスター (付属品) の使い方参照)

1. パワースイッチは OFF でギヤは P (パーキング) または N (ニュートラル)
2. 別紙「配線一覧表」で指定された接続場所の端子部を検電確認

製品コード色	ブレーキ踏まない	ブレーキ踏む	
赤	☀ (12V)	☀ (12V)	ブレーキ電源
灰	○ (0V)	☀ (12V)	ブレーキスイッチ信号

☀ = 検電テスター点灯 ○ = 消灯

※ コードが4本以上の場合、残りのコードには配線しません。

配線方法を選んでください

「直接接続」か「ブレーキハーネス」から配線方法を選んで作業を行ってください。

- ① 指定の接続場所は検電確認を行ってから接続してください。
- ② 未確認の車種は検電確認を行い、接続してください。

直接接続の場合

「配線一覧表」の「接続番号」のコードへ、赤と灰コードを付属のカットギボシを使用して接続してください。

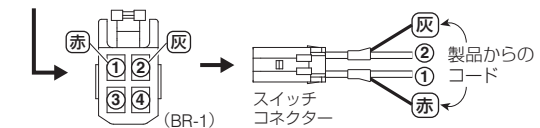
配線一覧表

⚠ 表中の「ブレーキハーネス接続コード色」は、クルマ側のコード色ではありません。

例：トヨタアルファード (H20.5～) の場合

TOYOTA

車名	年式	ブレーキハーネス品番	直接接続接続番号				ブレーキハーネス接続色
			製品のコード色				
アルファード・ヴェルファイア	H20.5～	BR-1	赤	灰	赤	灰	接続番号
			青	黄			



ブレーキハーネス (別売品) 使用の場合

「配線一覧表」の「ブレーキハーネス接続色」へ、赤と灰コードを接続してください。(詳しくはブレーキハーネス取扱書を参照してください。)

配線一覧表

例：トヨタアルファード (H20.5～) の場合

TOYOTA

車名	年式	ブレーキハーネス品番	直接接続接続番号				ブレーキハーネス接続色
			製品のコード色				
アルファード・ヴェルファイア	H20.5～	BR-1	赤	灰	赤	灰	接続色
			青	黄			

車速信号

オレンジ

別紙「配線一覧表」で位置を確認し、付属の
カットギボシを使用し接続。

(下記【参考2】カットギボシの使い方参照)

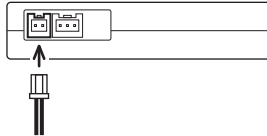
※接続は車輛側コードの指示された場所に行ってください。
(CAN-BUSアダプターには接続しないでください。)

配線
一覧表

小型レバースイッチ

2P コネクタ

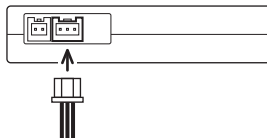
本体背面へ接続。



電源コード

3P コネクタ

本体背面へ接続。



❗ オートクルーズを使用しない場合の配線

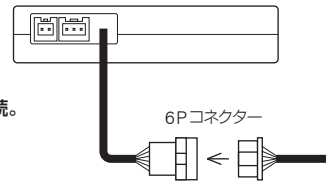
赤 = 常時 12V (ブレーキ以外でも可)

灰 **オレンジ** = どこにも接続しない

車種別専用ハーネス (別売品)

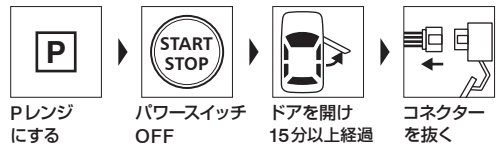
6P コネクタ

本体からの
6Pコネクタと接続。



⚠️ 車輛側 アクセルコネクタを抜く時の注意

チェックランプ点灯防止のため、アクセルコネクタの
取り外しはPレンジにしてパワースイッチOFF後、ドアを
開けた状態で15分以上経過してから行ってください。



チェックランプが点灯した場合の消灯方法 ⇒ 16ページ

※アクセルコネクタへの装着方法は、各専用ハーネス付属の説明書を
参照してください。

⚠️ 各コネクタ脱着時の注意

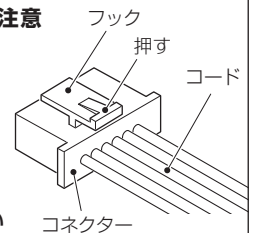
装着時

フックの向きを合わせて
コネクタを持って差し込む

抜く時

フックを押しながら
コネクタを持って引き抜く

※ 抜く時コードは引っ張らない



●一部の車種において、電流容量不足から付属検電テスターやLED検電テスターが使用できない場合があります。その場合は
アナログテスター等をご使用ください。

【参考1】検電テスター (付属品) の使い方

<p>1 アースをするネジを緩め、 コードの先端 (芯線) を入 れ締める。</p> <p>※アース用ネジは金属に固 定されたネジを使用して ください。プラスチック 部に固定されたネジや塗 装ネジでは絶縁状態に なり、通電しません。</p> <p>金属部 コードの先端</p> <p>✗ プラスチック部</p> <p>✗ 塗装ネジ</p>	<p>2 検電する場所にLEDの先端を 接触させる。</p> <p>アース (ネジ等) 検電テスター (付属)</p> <p>点灯 = 12V 消灯 = 0V</p> <p>LED</p>
--	--

【参考2】カットギボシの使い方

<p>1 10mm</p> <p>クルマ側のコードの 被ふくを剥く</p>	<p>2 10mm</p> <p>製品側のコードの 被ふくを剥く</p>	<p>3</p> <p>芯線を絡める</p>	<p>4 カットギボシ</p> <p>芯線が抜けないように 圧着ペンチでかき締める</p>
<p>5</p> <p>絶縁テープを3周程度巻き 確実に絶縁する</p>			

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品
の
固定

⚠️
設定
初期

車速
バルス
設定

操作
方法

お困り
の
ときは

手順 2

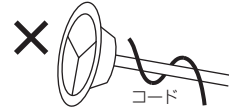
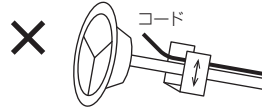
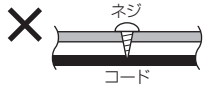
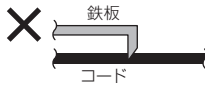
製品の固定



●コードは断線やショートなどを防ぐため下記の場所を避け引き回し固定してください。

①鉄板の鋭角部やネジの尖った先端

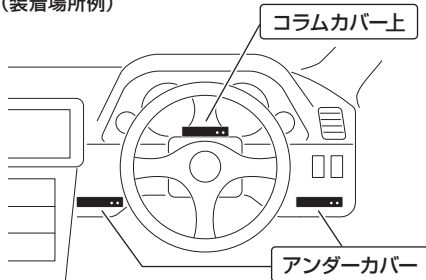
②ハンドルを回し動くシャフトやチルトを上下し動く機構付近



本体の固定

表示が見やすく操作しやすい場所に装着してください。

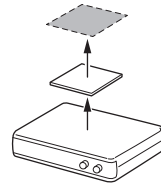
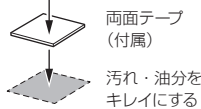
(装着場所例)



(装着方法) 本体が落下しないように確実に両面テープで固定してください。

コラムカバー上に装着する場合

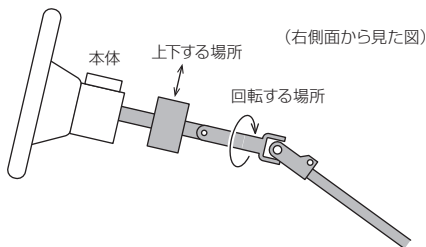
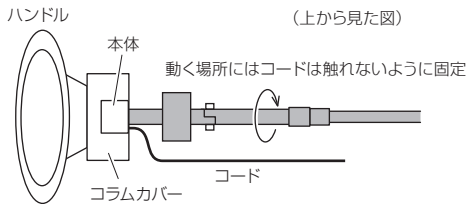
アンダーカバーに装着する場合



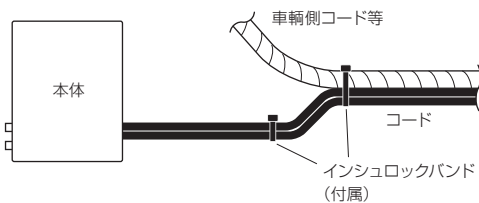
※ 貼り換えなどで両面テープの接着力が下がった時は市販品を使用してください。

コラムカバー上に装着した場合のコード処理

コードはハンドルで回転する場所や、上下し動く場所は避けインシュロックバンドやテープなどで束ねコードの断線や噛み込みなどのトラブルがないように固定してください。

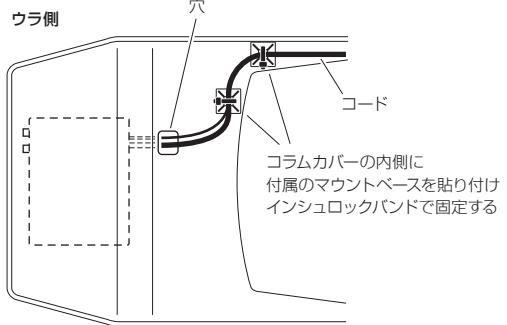
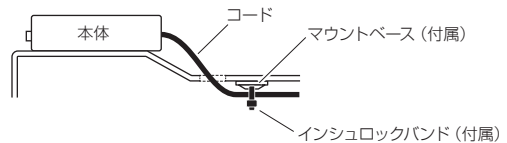


コードは車輛側コード等と固定

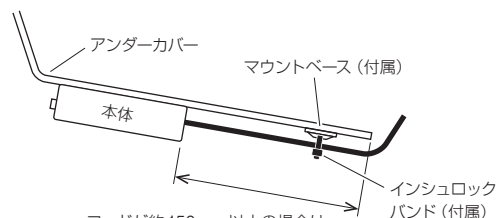


コードをコラムカバーに穴あけし隠す場合

コードをコラムカバーに穴あけし通す場合は、コラムカバーを上下外して行ってください。



アンダーカバーに装着した場合のコード処理



コードが約150mm以上の場合にはインシュロックバンドでの固定をおすすめします。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線接続
方法

製品の
固定

初期
設定

車速
パルス
設定

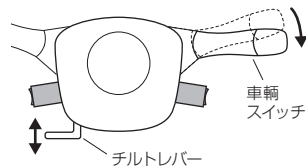
操作
方法

お困りの
ときは

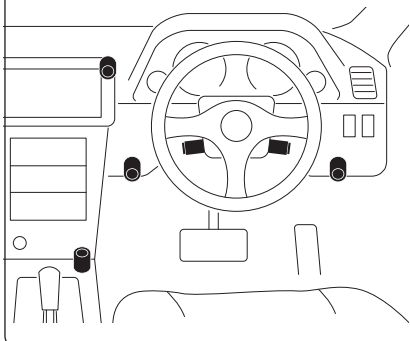
小型レバースイッチの固定

● 小型レバースイッチは下記などの操作しやすい場所に設置できます。

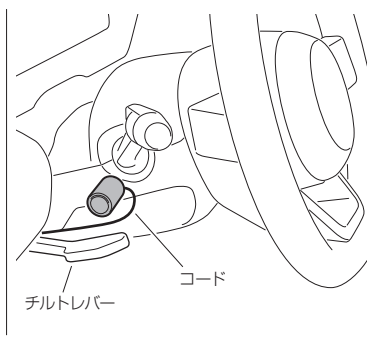
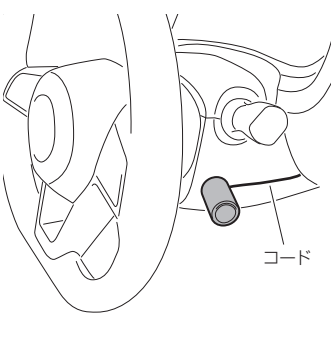
- ※1 コードはスイッチの右側に出ますので引き回しを考慮してください。
- ※2 ハンドル、チルトレバー、車輪スイッチが動いても接触しない場所に設置してください。
- ※3 コードは断線防止のため、引っ張らない状態で取り付けてください。



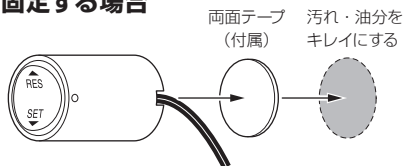
(装着場所例)



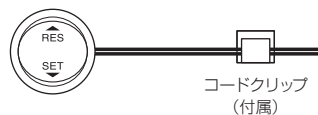
(コラムカバーへの装着例)



両面テープで固定する場合



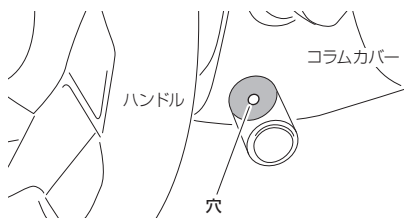
コードをクリップで固定する場合



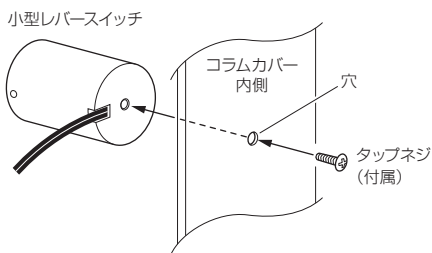
ネジで固定する場合

両面テープでは固定しにくい場所に装着する場合などにはネジ固定してください。

- 1 小型レバースイッチの中央の位置に $\phi 3$ の穴をドリルであける。



- 2 付属のタップネジで小型レバースイッチを固定する。



※1 穴あけはコラムカバーを外してから行ってください。

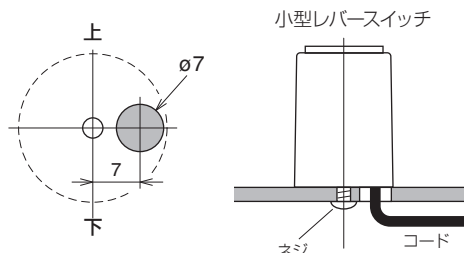
※2 コラムカバーを外さずに穴あけをする場合はコラム内のスイッチやコードを傷つけないように注意してください。

コードをコラムカバー内部に隠す場合

コードをコラムカバー内に通す場合は穴あけをして通してください。

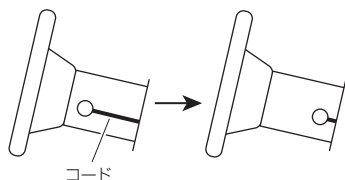
小型レバースイッチの右側付近に $\phi 7$ の穴をドリルであける。

※ 付属の穴あけ位置シールを仮貼して使用すると便利です。



コードが気になる場合

コードが目立ち気になる場合は穴あけをしてコラムカバー内を通すか、スイッチを目立たない位置まで移動しご使用ください。



ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

⚠
初期
設定

車速
パルス
設定

操作
方法

お困り
の
ときは

手順 3

初期設定 (アクセル開度設定) 必ず行ってください。

はじめて装着したとき



初期設定

違うクルマに装着したとき



初期設定

- この作業は、クルマのアクセル特性を製品に設定するためのものです。
- 設定を行わないと、モード表示を換えてもノーマル状態のままです。
- この作業を行わないと、チェックランプが点灯する場合があります。

初期設定作業のまえに

1. 設定はすべての配線 (コネクター装着) 後に行ってください。
2. 設定は **パワースイッチ ON** ・ **エンジンを始動しない** ・ ギヤ位置 **P** または **N** で行ってください。
パーキング ニュートラル

【設定方法】

1 パワースイッチを ON にする
(エンジンは始動しない)




●nor と表示 されます。
n o r (ノーマルモード)

ブレーキ踏ます 2回押す

⚠ 表示が nor 以外の場合は、MODEスイッチを押し、nor にしてください。

2 LEVELスイッチを 10秒長押しし 表示を 0 にする




cAr ⇒ -5- -4- ... -0-

●「ピッ」と1回鳴りcAr表示が点滅後、「ピッ、ピッ、ピッ…」という音と共にカウントダウンします。

3 表示 0 でLEVELスイッチを離す

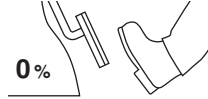
-0-



4 アクセルペダルを踏まない
(アクセル0%状態にする)


(例) L15

(電圧表示 例=1.5V 各表示数値は車種により異なります。)



5 アクセル0%状態で LEVELスイッチを 押し 離す

●「ピッ」と音が鳴り 表示されます。 5Et 0%状態を設定



6 アクセルペダルを奥いっぱいまで踏み込む
(アクセル100%状態にする)

(例) H45



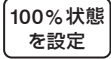
(電圧表示 例=4.5V 各表示数値は車種により異なります。)



7 アクセル100%状態で LEVELスイッチを 押し 離す

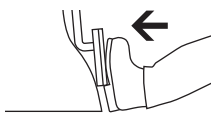
●「ピッ」と音が鳴り 表示されます。 100%状態を設定

⚠ Err 表示になる場合
Err 表示後 [4] の表示 (L15 など) に戻る場合は、アクセル開度設定が確実にできていません。もう一度 [4] からやり直してください。

8 表示が 100 に変わるまで アクセルペダル踏み続ける

5Et ⇒ nor ⇒ 100



9 表示が 100 に変わったら アクセルペダルを離す

100 ⇒ nor




10 設定完了

他のクルマに装着する時は必ず再設定を行ってください。
設定後にバッテリーや配線を外した場合の、初期設定は不要です。

設定の確認 (表示が違う場合は再度 2 から行ってください。)

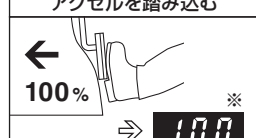
アクセルを踏まない

0% ⇒ nor



アクセルを踏み込む

100% ⇒ 100



ご使用の
製品の
配線接続
製品の
初期設定
必ず行ってください。
車速パルス
操作方法
お困りの

手順 4

車速パルス設定

設定するパルス数は別紙「配線一覧表」を参照してください。

1 パワースイッチをONにする
(エンジンは始動しない)

● nor と表示されます。
(ノーマルモード)

表示が nor 以外の場合は、MODEスイッチを押し、nor にしてください。

● MODEスイッチを **3秒長押し**する

● 「ピー」と音が鳴り PLS と表示されます。

● MODEスイッチを離す

● パルス数が表示されます。

4 MODEスイッチを **押し**て離し
設定するパルス数を選択する

押し続けて「ピー」と鳴り表示が切り換わります。

P-2
↓ ビープ
P-4 (出荷時設定)
↓ ビープ
P-8

5 3秒間操作なしで点滅表示
P-0

6 6秒間操作なしで点滅表示からノーマルモードに戻る
nor **設定完了**

⚠ 車速パルス設定は正しく行ってください。正しく設定されていないと、オートクルーズ設定可能速度の約40~140 km/h以内でも、オートクルーズをセットすることができません。

テスト走行

各配線と「初期設定」「車速パルス設定」が完了したら、簡単な確認を行ってください。

⚠ テスト走行は、歩行者や交通量の少ない、安全な広い場所で行ってください。本書をよくお読みいただき、操作方法をご理解の上で行ってください。

1 エンジン始動

2 SETスイッチを **2秒長押し**し
オートクルーズモードをONにする

RES SET ⇒ ON
↓
nor
ドット点灯 (nor表示例)

3 走行開始 (45km/h以上)

4 オートクルーズをセットする

RES SET SETスイッチを **押し**て離す

5 設定速度で自動走行 ACC

○ ACC 表示になる
⇒ 各配線・設定は問題ありません。

× ACC 表示にならない
⇒ 下の各項目を確認してください。

↓

- - b - が表示される場合
灰コードの接続不良 ⇒ 4~5ページ
- - - - が表示される場合
車速パルス設定不良 ⇒ 9ページ
オレンジコードの配線間違い ⇒ 5ページ
- スイッチを押ししても表示が切り換わらない場合
初期設定不良 ⇒ 8ページ

オートクルーズ解除方法

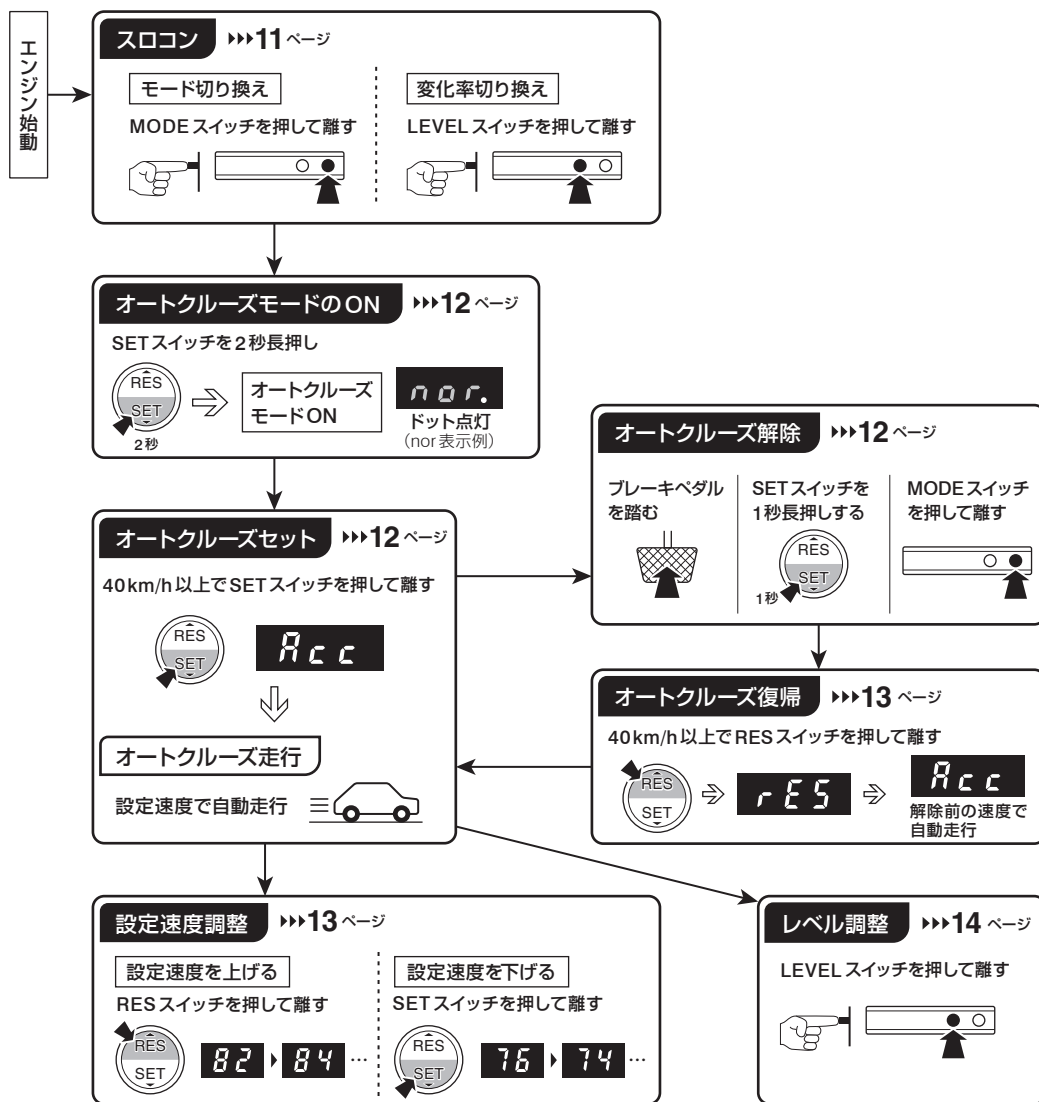
ブレーキペダルを踏む または RES SET SETスイッチ 1秒長押し または MODEスイッチを押して離す

ご使用の
製品の
配線接続
製品の
初期設定

車速パルス
操作方法

お困りの
ときは

基本動作

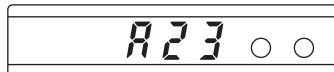


アクセル開度モニター

アクセルの踏み込み量を表示します。(出力信号側) [5~100%まで1%単位]

- アクセル開度モニターはアクセルを踏まない状態を0とし、奥まで踏んだ状態を100としてECU側に出力する開度率です。
- 5 ~ 100%まで1%単位で表示。

アクセル開度 (出力側)
23%時



用途 1 エコ運転時のアクセル操作チェック

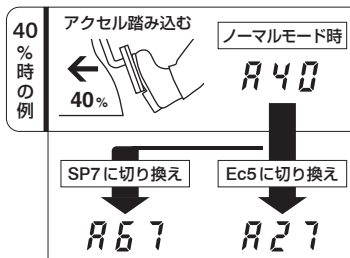
発進から加速時に低燃費となるアクセル開度は約15~25%以内です。エコ運転時はECOモードと併用されると効果的です。



用途 3 制御状態のチェック

パワースイッチON (エンジン停止) 状態でノーマルモードでアクセルを40%まで踏み込み、モードをSP7にすると表示はA67 (出力67%) となり、Ec5では表示はA27 (出力27%) となります。

※表示は多少異なる場合があります。



用途 2 運転中のアクセル操作チェック

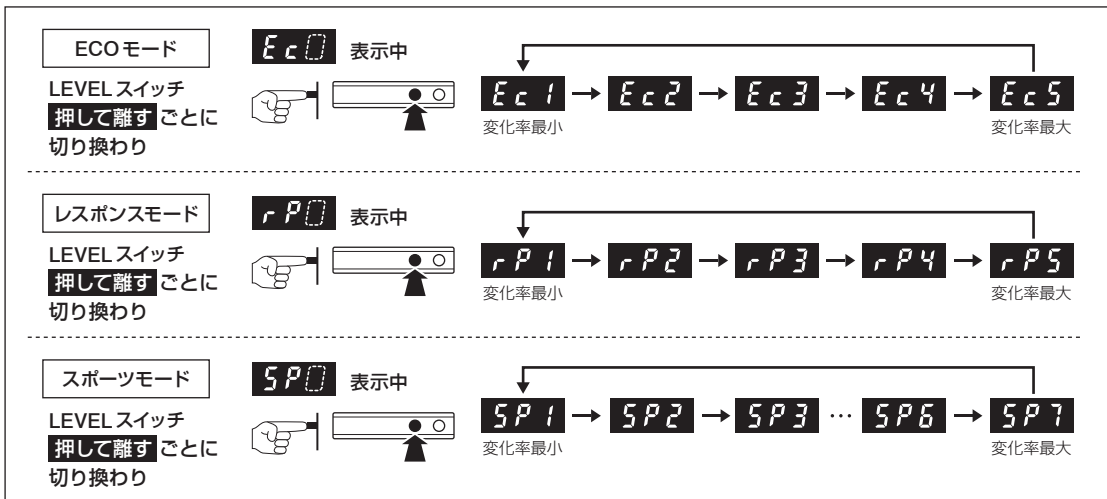
ECOモード以外でもアクセル開度がチェックできますので各変化設定のチェックなどにご利用ください。

スロコン操作方法

モード切り換え



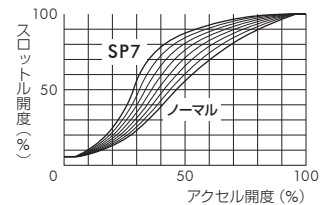
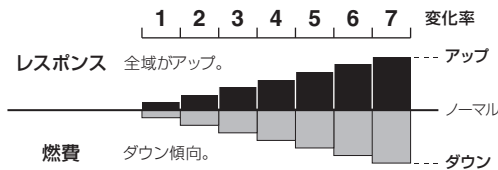
変化率の切り換え



各モードの特徴

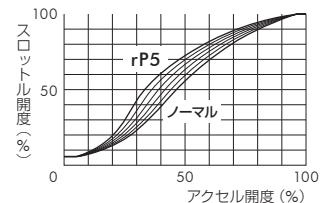
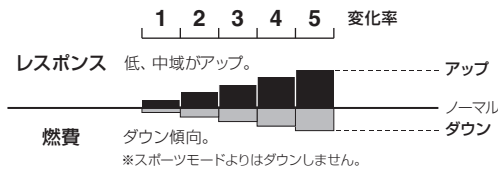
スポーツモード

サーキット
スポーツ



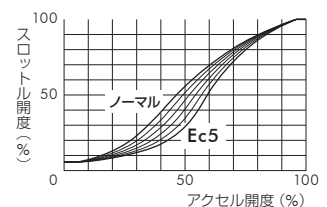
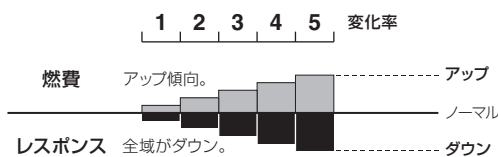
レスポンスモード

サーキット スポーツ
ワイヤー特性に近い



ECOモード

ECO運転 市街走行
渋滞走行 滑りやすい路面



- ・ 始動時のモードは、前回のモードとなります。
- ・ モードの切り換えを行っても各変化率は変更されません。

※ ECOモードでは、純正状態よりもレスポンスを下げた低燃費走行が可能です。ただし、意図的に急加速運転をすると燃費は悪化します。

※ レスポンス変化はパワーの大きいクルマほど大きくなります。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定

車速
バルス
設定

操作
方法

お困り
の
ときは

オートクルーズ操作方法

オートクルーズをセットすると、アクセルペダルを踏まなくても設定した速度で自動走行できます。

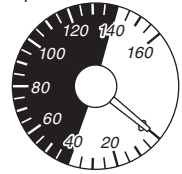
⚠ オートクルーズ走行中の注意

- 下り坂などでは設定速度を超える場合もありますので、車輛メーターで速度を確認し走行してください。
- 車間距離など安全に注意し減速できる状態で走行してください。
- 滑りやすい路面、急カーブ、急な坂道、渋滞路では使用しないでください。
- エンジン回転が上がるためNレンジにはしないでください。

【設定可能速度】


約40～140 km/h

純正メーターでは、表示誤差から45～145 km/h くらいでの設定になります。




セットする (オートクルーズの作動方法)

1 エンジン始動



2 スロコンの表示

3 SETスイッチを**2秒長押し**し
オートクルーズモードをONにする



※ 再始動時（製品の表示消灯後）は、オートクルーズモードはOFFになりますのでONにしてからご使用ください。

オートクルーズモード ON

ON

ON表示 + 「ピッ」と音が鳴る

nor.

ドット点灯 (nor表示例)

4 40km/h以上で走行中
設定する速度でSETスイッチを**押して離す**





押して離す

※ セット時には急激なアクセル操作はしないでください。
※ 急な上り坂では、セット時、多少減速してから安定走行になります。

「ピッ」と鳴り自動走行開始

5 設定速度で自動走行


Acc

※ 加速時以外はアクセルを踏まないでください。

【一時的な加速方法】


- ① アクセルペダルを踏むと加速
- ② 離すと**4**の速度に戻りオートクルーズ

加速



アクセルペダル踏む

オートクルーズ



離す

解除する (オートクルーズ走行を中止する)

ブレーキペダルを踏む



解除音は鳴りません

または

SETスイッチ **1秒長押し**



「ピー」と解除音が鳴ります

または

MODEスイッチ **押して離す**



「ピー」と解除音が鳴ります

⇒


解除

【自動解除】
速度が約20km/h以下になった場合

オートクルーズモードをOFF (オートクルーズモードを再始動時状態に戻す)

スロコン表示中にSETスイッチを**3秒長押し**し
オートクルーズモードをOFFにする

⇒



オートクルーズモード OFF

OFF

OFF表示 + 「ピッ」と音が鳴る


nor

ドット消灯 (nor表示例)

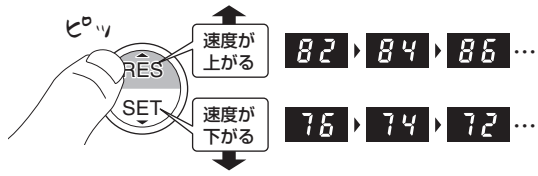
設定速度を変える

RES / SETスイッチを押し
設定速度を変える

Acc (オートクルーズ走行中)

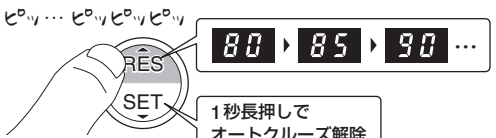
 設定した速度表示が車輦の速度計と誤差が出る場合は
車輦の速度計の数値を基準にしてください。

押して離す (2km/h 加減速)



押して離すことに「ピッ」と音が鳴り、
約2km/hずつ加速(または減速)します。
表示されている速度まで加減速し、自動走行します。

RESスイッチ長押し (5km/h ずつ加速)






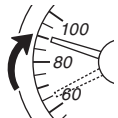
1秒長押しで
オートクルーズ解除

「ピッ」と1回鳴った後「ピッピッピッ」という連続音に変わります。
押している間5km/hずつ加速し続け、離れたときの表示速度まで加速し、自動走行します。
※減速時は1秒長押しでオートクルーズ解除となります。

→ 3秒間操作なしでAcc表示に戻ります。 ←

復帰させる

オートクルーズ解除後、スイッチを押すだけで解除前の設定速度に復帰します。

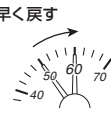

- 1 オートクルーズ解除
- 2 通常走行 (40km/h以上) 
- 3 RESスイッチ **押して離す**  「ピッ」と音が鳴ります。
- 4 RESが3秒間表示され、Accに切り換わる 
- 5 前回の設定速度まで自動で加速(または減速)し、自動走行 

※ 安全のため、オートクルーズ解除後に車速が20km/h (メーター読みでは25km/h) 以下になると、解除前の設定速度はリセットされ、オートクルーズ復帰できません。

レベル調整

上り坂などで一時的に下がった速度を設定速度に戻す時間は、エンジン性能（出力）の違いによって変わります。レベル調整を行うことで、速い加速（設定速度に早く戻る）と遅い加速（乗り心地が良い）のバランスをお好みで調整できます。

レベル調整は走行条件やクルマでも異なる場合がありますので、下記はあくまで参考例とし、お好みで調整してください。（製品出荷時は L-3 の設定です。）

<p>L-5 側 (速い加速) 小排気量車向け</p>	<p>エンジン出力が小さいクルマで、設定速度に戻る時間を早くしたい場合は L-5 側に上げてください。</p>	<p>早く戻す</p> 
<p>L-1 側 (遅い加速) 大排気量車向け</p>	<p>エンジン出力が大きいクルマで、設定速度に戻る時間が早く、急な加速で乗り心地が悪い場合は L-1 側に下げてください。</p>	<p>ゆっくり戻す</p> 

【設定の参考例】

L-5	アルト
L-4	マーチ・フィット・デミオ・ワゴンR
L-3	ヴォクシー・プリウス・キャラバン・セレナ・インサイト・スイフト・ステップワゴン
L-2	ヴェルファイア・クラウン・ハイエース・エルグランド・レガシィ・MPV・RX-8

! 走行中のスイッチ操作や表示の注視は事故の原因となりますので、安全に十分配慮して行ってください。

【調整方法】 **ACC** オートクルーズ走行中に調整ができます。



ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定


車速
パルス
設定

操作
方法

お困り
の
ときは

故障かな?と思ったら

基本動作と車輛関係

症状	原因	対策
パワースイッチONで表示が点灯しない、または使用中に表示が消灯する。	車輛のブレーキヒューズ切れ。 (赤) コードの配線間違い、または接続不良。 (3Pコネクター) の接続不良。 (専用ハーネス) の接続不良。 (専用ハーネス) の品番間違い。	再度ご確認ください。
チェックランプが点灯した。 	「パワースイッチON」または「パワースイッチOFF後15分以内」に アクセラコネクター または 専用ハーネス を抜いた。 「初期設定」が行われていない。	抜いたコネクターを元に戻し、チェックランプを消灯させてください。(⇒本書16ページ) 「初期設定」(⇒本書8ページ) を行い、チェックランプを消灯させてください。(⇒本書16ページ)
初期設定または車速パルス設定に入れない。	(オレンジ) コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
初期設定中にErr表示になる。 Err	走行中のため。	停車状態で行ってください。
初期設定中にErr表示になる。 Err	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒本書8ページ)
パワースイッチをOFFにしても表示が点灯している。	本製品はクルマのECU電源に連動しています。そのため、車種によってはパワースイッチOFFから表示が消えるまで最長15分かかりますが、正常な動作です。	

スロットルコントローラー関係

症状	原因	対策
モード切り換えができない。	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒本書8ページ)
モードを切り換えても変化を体感できない。	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒本書8ページ)
モードまたは変化率の設定が記憶されない。	モード切り換えまたは変化率設定後、すぐにパワースイッチをOFFにしている。	モード切り換えまたは変化率設定後、2秒以上経ってからパワースイッチをOFFにしてください。

オートクルーズ関係

症状	原因	対策
SETスイッチを2秒長押ししてもドット点灯せず、オートクルーズモードがONにならない。	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒本書8ページ)
	(2Pコネクター) の接続不良。	再度ご確認ください。
-b-表示になり、オートクルーズが動作しない。 -b-	(灰) コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
	ブレーキランプをLEDに交換している。	純正のブレーキランプに戻してください。
---表示になり、オートクルーズが動作しない。 ---	(オレンジ) コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
	設定可能速度外。	
	「車速パルス設定」が正確に行われていない。	「車速パルス設定」を行ってください。(⇒本書9ページ)
オートクルーズが自動で解除され、スロコンに切り換わる。	(灰) コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
	(オレンジ) コードの配線間違い、または接続不良。	
	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒本書8ページ)
	速度が30km/h以下になった場合は自動で解除されます。	
急な上り坂でオートクルーズの設定速度との差が大きい。	オートクルーズレベル調整がレベル小(L-1側)になっている。	「オートクルーズレベル調整」を行ってください。(⇒本書13ページ)
オートクルーズの設定速度に戻る加速が強く感じる。	オートクルーズレベル調整がレベル大(L-5側)になっている。	
オートクルーズ中にアラーム音と同時にAbc表示になり、オートクルーズが解除される。 Abc	自動ブレーキ連動解除機能が作動した。	正常動作です。
	(オレンジ) コードの接続不良。	再度ご確認ください。
オートクルーズ中に設定速度と車輛メーターの速度に差がある。	車速パルス設定が違う。	「車速パルス設定」を再設定してください。(⇒本書9ページ)
	数km/hの差の場合は、車種による誤差のため正常です。	

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定
⚠

車速
パルス
設定

操作
方法

お困り
の
とき

表示の種類

使用中の表示

表示	説明
SP1~SP7	スポーツモード(数字が大きい=レスポンスが高い)
rP1~rP5	レスポンスモード(数字が大きい=レスポンスが高い)
Ec1~Ec5	ECOモード(数字が大きい=レスポンスが低い)
nor	ノーマル(純正状態)
R00	アクセル開度表示
000.	オートクルーズ使用可能(オートクルーズモードON)
Rcc	オートクルーズ動作中
82 (速度表示例)	オートクルーズ中、設定速度を上げる/下げる
rES	オートクルーズ復帰開始(リジューム)
- - -	オートクルーズ中止(車速)
- b -	オートクルーズ中止(ブレーキ)
Rbc	自動ブレーキ作動によるオートクルーズ解除時

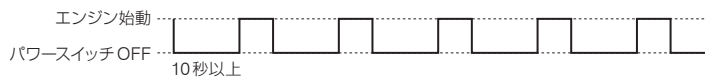
設定中の表示

表示	説明
cAr	初期設定モード
L00	アクセルを踏まない位置
H00	アクセルを奥まで踏んだ位置
SEt	入力完了
PL5	車速パルス設定モード
P-0	車速パルス数
L-0	オートクルーズレベル調整
on.	オートクルーズモードON
off	オートクルーズモードOFF

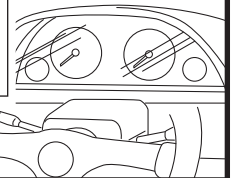
自動ブレーキ連動解除機能は、オートクルーズ走行中に衝突軽減システムの自動ブレーキが作動した場合のみ、オートクルーズを解除しアラーム音と同時に「Rbc」表示となります。

チェックランプ消灯方法

- ① パワースイッチを10秒以上OFF後、エンジン始動する操作を5回以上繰り返す。



- ② ①で消灯しない場合は、バッテリーの⊖端子を約10分外し元に戻す。
- ③ ①②で消灯しない場合は、カーディーラーなどで消灯作業を行う。



※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれています。
 ※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
 ※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。

ご使用の
 まえに
 製品の
 特長
 配線接続
 方法
 製品の
 固定
 初期
 設定
 車速パルス
 設定
 操作方法
 お困りの
 ときは